

平成29年度事業報告

1 クラブ員数について

平成29年度	429人	(参考) 平成28年度	333人
(内訳) ものづくり教室 (デリバリー)	147人	(内訳) ものづくり教室 (デリバリー)	147人
ロボット教室	92人	ロボット教室	90人
子ども航空宇宙教室	143人	子ども航空宇宙教室	96人
夏休みちよこっとデリバリー教室	47人		

2 ものづくり教室事業

(1) ものづくり教室 (デリバリー)

日 時	平成29年4月～平成30年2月の土・日曜日10時～12時30分 (詳細は下表参照)
内 容	クラブ員として参加者を募集し、ものづくりを中心に2つのテーマで科学工作教室を名古屋市内6か所で実施した。
対 象	小学4年～中学生
参加費	10,000円
参加者数	147名 (応募人数603名) (前年度：参加者147名、応募人数263名)

【内容一覧】

教室名	会 場	実施日		会員数
		テーマ① 「ボールの運動・コロコロスイッチをつくろう」	テーマ② 「テーブルから落ちないで走る車をつくろう」	
千種教室	愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス他	4/1, 8, 15, 22	9/30, 10/7, 14, 21	30
東教室	山吹小学校(テーマ①) 矢田小学校(テーマ②)	4/2, 9, 16, 23	10/8, 15, 22, 29	16
瑞穂教室	ブラザー工業株 ブラザーコミュニケーションスペース 他	5/13, 20, 27, 6/3	11/18, 25, 12/2, 16	30
天白教室	天白生涯学習センター	5/7, 14, 21, 28	11/5, 12, 19, 26	23
西教室	トヨタ産業技術記念館	6/17, 24, 7/1, 8	1/13, 20, 27, 2/3	24
中川教室	中川生涯学習センター	6/4, 11, 18, 25	1/14, 21, 28, 2/4	24

※今年度アンケートにおける主な感想

- 参加者
 - ・できたときの達成感がよかったです。改造するのが楽しかったです。将来物作りをしてみたいです。
 - ・とても楽しく説明がわかりやすかったです。 ・いろいろなことがわかって、将来発明家になりたいです。
 - ・部品の名前がたくさんあって大変でした。けれどなかなか体験できないことができて楽しかったです。
 - ・名古屋市のいろいろな子と一緒にやるので、仲が深まってよかったと思う。難しいところもあるけれど、とても楽しかったので、また参加してみたいです。
- 保護者
 - ・来年は中学生になるので、中学生向けのものもやってほしいです。
 - ・次世代を担う子ども達の可能性を広げる教室をどんどんやって頂きたいです。
 - ・専門家の方から直接指導していただける貴重な体験ができ、子どもも興味を持っていて有難かったです。

(2) 夏休みちょこっとデリバリー教室

目的	ものづくり教室（デリバリー）の応募者が例年より増加したため、落選した子どもを対象に追加の教室を開催する。
日時	平成29年8月21日（月）～23日（水） 13時30分～16時30分
場所	名古屋市工業研究所 展示場（名古屋市熱田区六番三丁目4-41）
内容	デリバリー事業の前期テーマで科学工作教室を開催した。
参加費	5,000円
参加者数	47名（応募人数113名）

(3) 子ども航空宇宙教室

目的	実験や工作を通して楽しみながら航空宇宙に関心をもってもらい、将来の航空宇宙産業を担う人材を育成する。
日時	Aコース 平成29年8月17日（木）・18日（金） 13時～16時 Bコース 平成29年8月24日（木）・25日（金） 9時30分～12時30分 Cコース 平成29年8月28日（月）・29日（火） 9時30分～12時30分 (3コースとも同内容)
場所	名古屋市工業研究所 展示場（名古屋市熱田区六番三丁目4-41）
内容	「オリジナルな月面を走る探査機の模型をつくろう」をテーマに、駆動用のギアボックスの組立や、電気配線とLED点灯のための電子工作を行った。また、これまでと同様に工業研究所内の設備見学や研究紹介も実施した。
対象	小学4年生～中学生
参加費	5,000円
参加者数	143名（募集：定員48名×3コース＝144名、応募：190名）（前年度応募：171名）

3 科学ものづくり自由創作教室

目的	ものづくり教室（デリバリー）への参加経験のある十分に工作力が養われた小中学生を対象に、ものづくりへの更なる興味を喚起し、創造力及び発明に関する才能を伸ばす。
日時	開催日数9日（7/17, 21, 25, 28, 8/4, 10, 22, 9/2, 9） いずれも13時30分～16時
会場	名古屋市科学館 工作室
内容	各種センサーやギアボックスなど基本的な材料のみ支給し、参加者が自由な発想で、ものづくりに取り組んだ。参加者は、それぞれ独創的な発想で生活に役立つもの、困っていることに対応できるものなどを発明・作品化した。
対象	前年までのものづくり教室（デリバリー）に参加した小中学生
参加費	3,000円
参加者数	18名（うち、あいち少年少女創意くふう展へ16点出品）（前年度：16名）

※日本弁理士会東海支部教育機関支援機構に講師派遣を依頼し、意匠や商標等、知的財産に関する講義をしていただいた。（実施日：平成29年8月10日（木） 講師：弁理士 安達正貴氏）

4 ものづくり教室（ロボット体験）事業

(1) ロボット教室

日 時	第3日曜日10時～16時
会 場	名古屋市科学館 生命館6階 第2実験室
内 容	自律型サッカーロボットの組み立て及びプログラミング教室を実施した。
対 象	小学生4年生～中学生
参加費	17,000円
参加者数	10回 92名（前年度：10回 90名）

(2) ロボット工房

①サッカーロボットの操作体験

日 時	第1・3日曜日10時～16時
会 場	名古屋市科学館 理工館3階 創造のひろば
内 容	ロボット教室でつくった自分のロボットを持ち寄り、指導を受けながらサッカー競技を実施した。ロボットの改造やプログラミングの改良を行い、ロボカップジュニア大会での活躍を目指した。
対 象	小学4年生～中学生
参加費	無料
参加者数	20回 640名（前年度：20回 547名）

②発展型コロボ教室

日 時	日曜日（不定期）10時～17時
会 場	名古屋市科学館 生命館6階 実験室
内 容	中級者教室を実施した。電子回路の勉強・製作、プログラミング言語の習得、オリジナルの機体製作を行い、ロボカップジュニアでの活躍を目指した。
対 象	ロボット工房経験者
参加費	無料
参加者数	15回 212名（前年度：20回 235名）

(3) 競技会参加（ロボカップジュニア）事業

①ロボカップジュニア名古屋大会

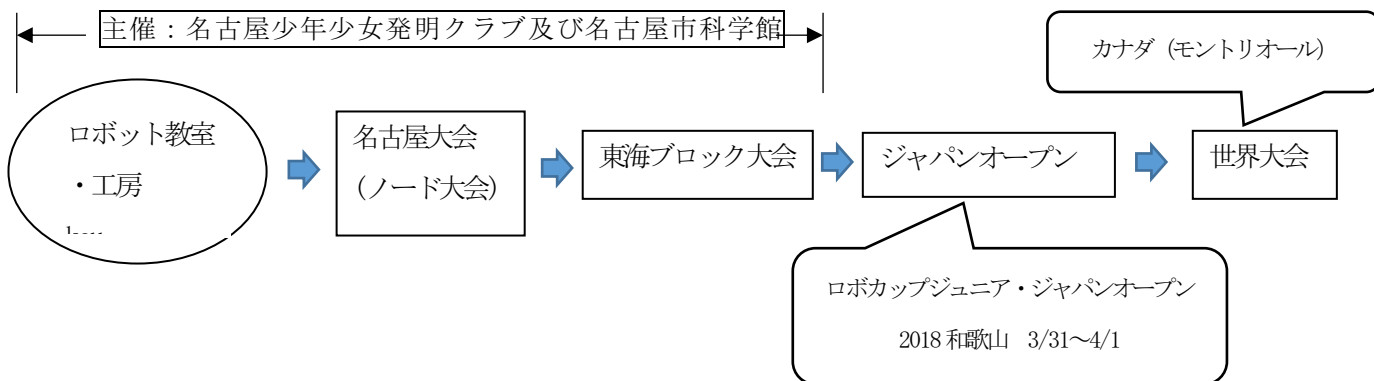
期 日	平成29年10月28日（土）・29日（日）
会 場	名古屋市科学館 イベントホール
内 容	ロボットサッカー競技の地区大会を実施した。
対 象	・ビギナーズ ルーキーリーグ：小学4年生～中学生 （サッカーロボット初心者が対象である。名古屋市科学館のロボット教室参加者や、当クラブで支援している市内小中学校からも参加している） ・ビギナーズ アドバンスリーグ：平成30年年7月1日時点で19歳以下 ・ライトウェイトリーグ：平成30年年7月1日時点で19歳以下 ・オープンリーグ：平成30年年7月1日時点で19歳以下

参加者数 53チーム (120名)
 (内訳) ビギナーズ ルーキーリーグ : 29チーム (66名)
 ビギナーズ アドバンスリーグ : 13チーム (29名)
 ライトウェイトリーグ 7チーム (16名)
 オープンリーグ 4チーム (9名)

②ロボカップジュニア東海ブロック大会

期 日 平成29年12月9日(土)
 会 場 愛知工業大学名電高校 淳和記念館
 内 容 下記ノード大会から選抜されたチームが対戦し、ジャパンオープン選抜者を決定した。
 対 象 小学4年～高校生
 参加者数 67チーム 149名
 ※名古屋大会からはサッカービギナーズ 9チーム(19名)、同ライト 2チーム(4名)、同オープン 2チーム(4名)の計13チーム(27名)が参加した。
 競技種目 サッカー、レスキュー、オンステージの3種目

【ロボカップジュニア大会の流れ】



★東海ブロックノード大会一覧

区分	開催県	大会名
サッカーチャレンジ・ノード大会	愛知県	名古屋大会、一宮大会、高浜大会、蒲郡大会、
	静岡県	浜松大会
	長野県	大町大会
レスキューチャレンジ・ノード大会	愛知県	愛工大大会
		蒲郡大会

※オンステージはノード大会を開催しなかった。

5 ものづくりチャレンジ教室事業

(1) 地球工房

日 時 土曜日13時～16時、日曜日・祝日11時～16時
会 場 名古屋市科学館 生命館2階 発見処
内 容 石や草木など自然の中から得られる素材を使った工作教室（砂絵、置物など）を実施した。
対 象 科学館来館者すべて
参加費 300円～1,000円
参加者数 95回 6,398名（昨年度：99回 6,188名）

(2) ものづくり工房

日 時 土曜日14時～16時
会 場 名古屋市科学館 理工館3階 創造のひろば
内 容 身のまわりの材料を使っての工作教室を実施した。
対 象 小中学生（科学館来館者）
参加費 無料
参加者数 40回 4,378名（昨年度：40回 4,696名）

(3) ものづくり教室

日 時 第3土曜日14時～16時
会 場 名古屋市科学館 理工館3階 創造のひろば
内 容 実験・工作教室を実施した。
対 象 小中学生（科学館来館者）
参加費 200円
参加者数 10回 233名（昨年度：10回 247名）

(4) 出前ものづくり工房

期 日 別表参照
会 場 別表参照
内 容 地域からの依頼に応じて市内小学校へ出張して工作教室を実施した。
参加費 無料
参加者数 5回 328名（昨年度：5回 304名）

【ものづくり工房・教室 実施一覧】

出前ものづくり工房

	開催日	会場名	区	人数	内容
1	平成30年2月6日(火)	見付小学校	千種	53	「ばたばたチョウ」
2	平成30年2月21日(水)	野田小学校	中川	75	「ばたばたチョウ」
3	平成30年2月28日(水)	相生小学校	天白	68	「びっくりへび」 「虹の筒」 「ばたばたチョウ」
4	平成30年3月8日(木)	宮根小学校	千種	81	「ばたばたチョウ」
5	平成30年3月13日(火)	平和が丘小学校	名東	51	「ばたばたチョウ」

ものづくり工房

開催月	テーマ
平成29年4月	「トンゴこま」
5月	「あしあと」
6月	「にじがみえる『わ』！」
7月	「紙皿でUFO」
9月	「くるくるロボット」
10月	「エンドレス・ループ」
11月	「まわせ！UFO」
12月	「スタースピナー」
平成30年1月	「アサラがきえた！」
2月	「ふう DE くるくる！」
3月	「ストロー飛行機」

ものづくり教室

開催月	テーマ
平成29年4月	「リニアモーターかあ？」
5月	
6月	「イリュージョンパンダ」
7月	
9月	「マジカル#ハンド」
10月	
11月	「くるくるクリスマス」
12月	
平成30年1月	「がちゃ☆ピカ☆アサラ」
2月	
3月	

6 総括業務

(1) 広報活動

- ①名古屋市公式ウェブサイトにて発明クラブを紹介した。
- ②広報パンフレットを作成し、市科学館に配架するとともに産業振興に関するイベント及び本市主催の産学連携の会議において配布した。
- ③協賛企業の社会貢献活動については、企業名のご紹介パネルを作製して市科学館に常時掲示しているほか、「ロボカップジュニア名古屋大会」、「ロボカップジュニア東海ブロック大会」、「日本弁理士会東海支部 定期支部総会」等においても搬送して掲示した。
- ④「世界青少年発明工夫展2017」における県内青少年少女発明クラブブースにて、当クラブ員の作品展示及びクラブ員による説明を実施したほか、広報パンフレットを配布した。
- ⑤「なごや・サイエンス・ひろば」へブース出展し、広報パンフレットを配布するとともに、サッカーロボットの展示・デモを行った。
- ⑥「ロボカップジュニア東海ブロック大会」において広報パンフレットを配布した。

(2) 会議の開催

- ・運営委員会 平成29年5月19日(金) 16時～17時
名古屋商工会議所 第4会議室
- ・幹事会 平成30年1月26日(金) 10時～11時
名古屋商工会議所 第4会議室

7 その他

(1) あいち少年少女創意くふう展への出展

- 会 期 平成29年11月3日(祝・金)・4日(土)
会 場 トヨタ産業技術記念館 大ホール
内 容 発明クラブ員の科学ものづくり自由創作教室における作品を16点出展した。
結 果 名古屋市教育委員会賞受賞

※本展については昨年度に引き続き、ミッドランドスクエアアトリウムイベントスペースにおいて、第75回全日本学生児童発明くふう展で恩賜賞をはじめ特別賞等に輝いた作品の展示などを行うプレイベントが平成29年10月18日(水)に開催された。

(2) 協賛企業について

- 平成29年度協賛企業等件数 47件 6,400,000円
(内 ロボカップジュニア分 3件 400,000円)

(3) 発明協会主催の全国会議への出席

- ①第81回少年少女発明クラブ全国会議
9月1日(金) 発明会館ホール(東京都港区)
②第82回少年少女発明クラブ全国会議
2月23日(金) 発明会館ホール(東京都港区)

(4) 発明クラブ卒業生に対するアンケートの実施

発明クラブ卒業生に追跡調査を実施し、当クラブ卒業生において、現在の進路と当クラブにおける参加事業との関わり、当時を振り返った感想、指導員希望の状況等について把握した。

(5) 発明クラブ見学会(指導員向け)

愛知県主催の発明クラブに関する事業に協力し、発明クラブの指導員を希望する方に対する見学会を平成30年1月に開催した。

(6) ロボカップ2017名古屋世界大会・世界青少年発明工夫展2017見学会の開催

当クラブ員とその保護者の希望者を対象に、ロボカップ2017名古屋世界大会及び世界青少年発明工夫展2017の見学会を実施した。

参加者数：128名(うち子ども65名、保護者63名)